

太陽光発電オンサイトサービスの余剰電力を活用したコーポレートPPAの実施 ～屋根上スペースの有効活用と再生可能エネルギーの導入拡大を両立～

2026年9月9日

関西電力株式会社

当社はこのたび、関電不動産開発株式会社（以下、関電不動産開発）および南海電気鉄道株式会社（以下、南海電鉄）と連携し、太陽光発電オンサイトサービス※¹で生じる余剰電力を活用したコーポレートPPA※²を開始しました。

本事業では、関電不動産開発が大阪府茨木市に所有する物流倉庫「KRD-Logistics 茨木」の屋根上スペースを活用し、当社の太陽光発電オンサイトサービスにより、同施設の電力需要を上回る発電容量を有する太陽光発電設備（約1,140kW）を設置します。発電した電力の一部は、関電不動産開発が同施設において自家消費し、自家消費しきれない余剰電力については、当社が小売電気事業者として、コーポレートPPAの仕組みを活用して南海電鉄へ供給します。

これにより、関電不動産開発は自社施設の屋根上スペースを最大限活用して再生可能エネルギーを創出できるとともに、南海電鉄は追加性※³のある再生可能エネルギーの利用拡大を図ることができます。

本事業で設置する太陽光発電設備により、年間約1,400MWhの再生可能エネルギーが創出され、年間約570t※⁴に相当するCO₂排出量の削減効果が見込まれます。

当社は、グループの総合力を活かし、エネルギーと脱炭素ソリューションの一体提供を通じて、お客さまの多様なニーズにお応えするとともに、「エネルギー3.0」※⁵を推進し、2050年のゼロカーボン社会の実現に向けて取り組んでまいります。

※1：法人のお客さまが所有する建物の屋根等に当社が太陽光発電設備を設置、所有した上で、設置後の運用・メンテナンスまでを当社がワンストップで行うサービス。サービスの詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

※2：コーポレートPPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）とは、企業等の需要家が、特定の発電設備で発電された電力や環境価値を長期契約に基づき調達する方法。

※3：太陽光発電所の新設など再生可能エネルギー総量の増加に直接寄与する価値。

※4：2024年度の関西電力の調整後排出係数0.415kg-CO₂/kWhから算出。

※5：エネルギーを軸としたソリューションサービスの提供と新たな事業領域への挑戦を相互に連携させて、最適な形でお客さまへお届けすること。

以 上

別紙：本事業の概要

太陽光オンサイトサービス利用者	関電不動産開発株式会社
小売電気事業者	関西電力株式会社
需要家	南海電気鉄道株式会社
発電出力	約 1, 1 4 0 k W （パネル容量）
供給開始時期	2 0 2 6 年 9 月

